

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 27 日

新潟県知事 殿

提出者

住所 新潟県長岡市大手通1丁目4番地10

氏名 長岡市長 磯田 達伸

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0258-24-1646

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	長岡中央浄化センター
事業場の所在地	新潟県長岡市寿3丁目4番3号
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	下水道業・下水道処理施設維持管理業 [3631]
② 事業の規模	現在処理能力(分流・合流) 68,300 m ³ /日 (計画 76,100 m ³ /日)
③ 従業員数	9人 (維持管理業者 26人)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙第1・2面のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙第2面のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現 状	産業廃棄物の種類	汚泥							
	排 出 量	95,391.20 t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	排 出 量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまで実施した取組)									
最初沈殿池以降の処理過程において、汚泥代謝促進のため、池数を調整し、沈降の抑制を試みている。 活性汚泥の処理過程においては、処理施設全体のバランスを配慮し、引抜量の決定を行っている。									

【目標】									
② 計 画	産業廃棄物の種類	汚泥							
	排 出 量	96,345.11 t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	排 出 量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
従来に加え、処理施設全体の運転管理を行う。									

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現 状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)								
	処理工程別に分別している。 ・脱水汚泥 中間処理施設で脱水したもの ・沈砂 沈砂池設備から発生した沈砂を洗浄・脱水したもの								
② 計 画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)								
	従来どおり分別を行うもの								

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥							
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
実施していない。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥							
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
実施する予定なし。									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥							
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	88,387.83	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
有機性汚泥は、凝集剤を添加後、機械脱水（遠心式）している。 沈砂は、洗浄脱水している。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥							
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	89,271.71	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
従来どおり実施する。									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度 (6 年度) 実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
実施していない。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
実施の予定なし。									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

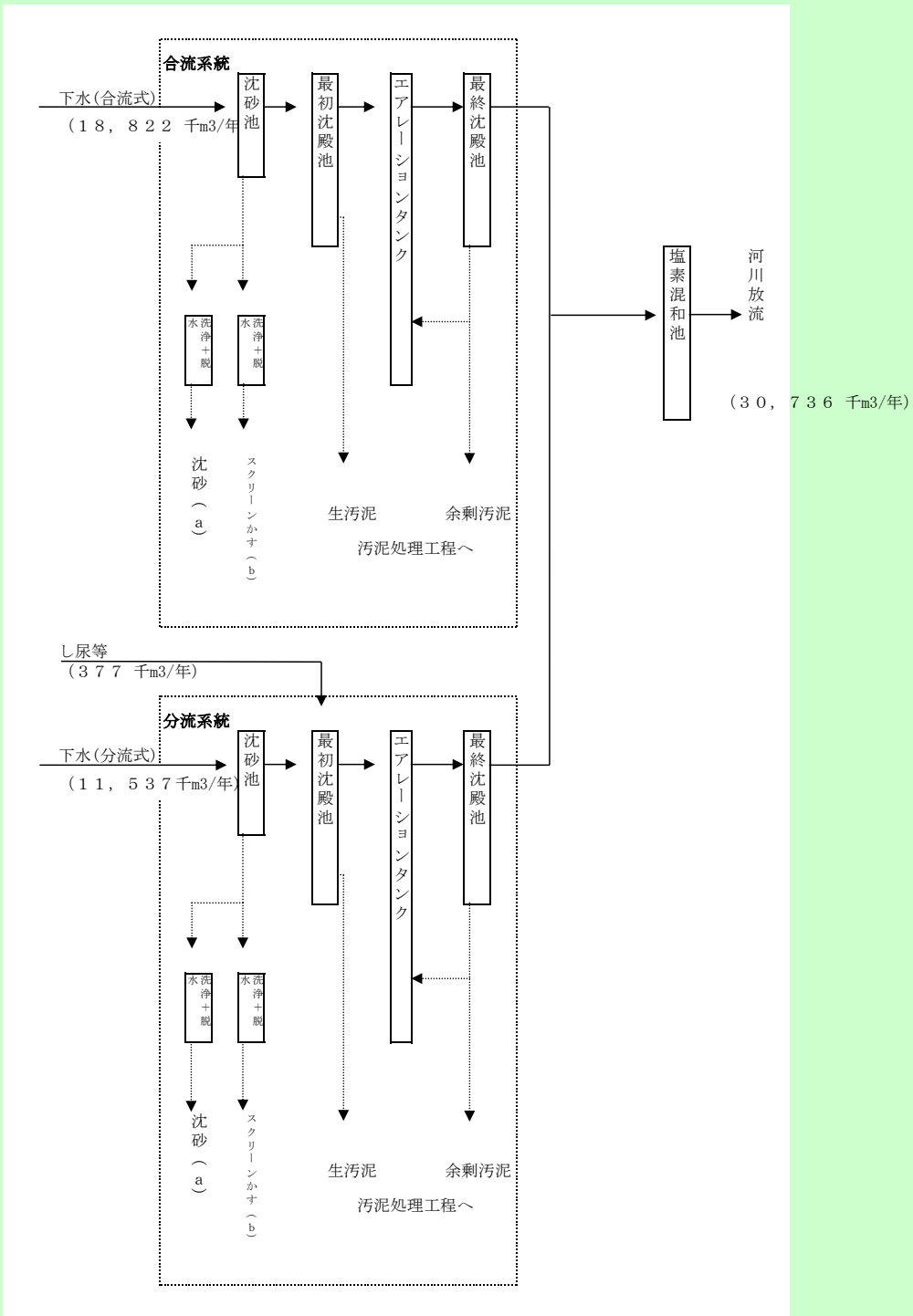
【前年度 (6 年度) 実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥							
	全処理委託量	7,003.37	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	7,003.37	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託料		t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量		t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託料		t	t	t	t	t	t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	
(これまでに実施した取組)									
脱水汚泥は、流域下水汚泥処理施設に処理を委託し、セメントの原料（燃料）化や炭化物化などとして再利用されている。 沈砂は、民間会社に処理を委託し、埋立ての材料となっている。									

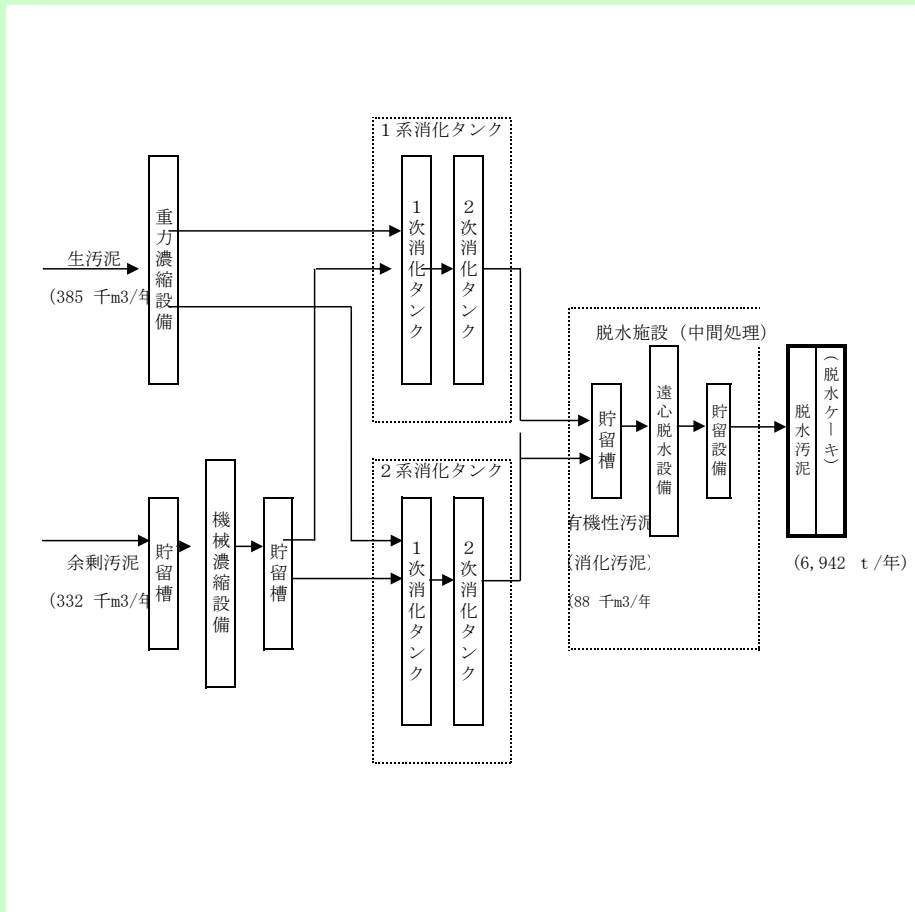
【目標】										
① 計画	産業廃棄物の種類	汚泥								
	全処理委託量	7,073.40 t	t	t	t	t	t	t	t	
	優良認定処理業者 への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者 への処理委託量	7,073.40 t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者 への処理委託料		t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	
	産業廃棄物の種類									
	全処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	
	優良認定処理業者 への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者 への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者 への処理委託料		t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	
	(今後実施する予定の取組)									
	従来どおり実施する。									
	※事務処理欄									

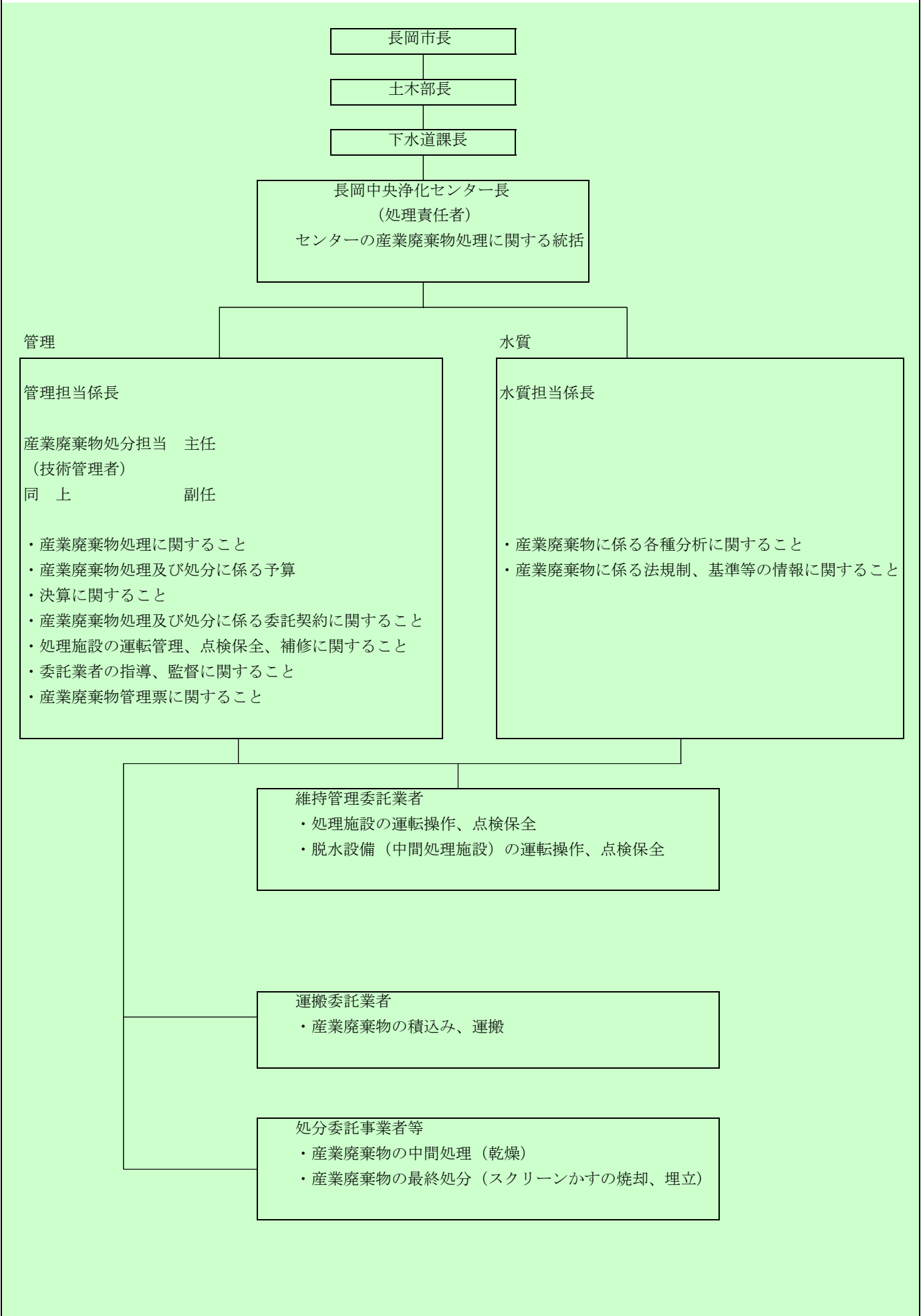
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

第 面 について







産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	長岡市長 磯田 達伸	提出者の住所	新潟県長岡市大手通1丁目4番地10
事業場の名称	長岡中央浄化センター	事業場の所在地	新潟県長岡市寿3丁目4番3号
内容年度	平成 7 年度		

（単位:トン）

廃棄物の種類	現状／計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況					
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量				
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J	
汚泥	現状	95,391.20	0.00	0.00	88,387.83	0.00	7,003.37	0.00	7,003.37	0.00	0.00	
	計画	96,345.11	0.00	0.00	89,271.71	0.00	7,073.40	0.00	7,073.40	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合 計	現状	95,391.20	0.00	0.00	88,387.83	0.00	7,003.37	0.00	7,003.37	0.00	0.00	
	計画	96,345.11	0.00	0.00	89,271.71	0.00	7,073.40	0.00	7,073.40	0.00	0.00	